

失業認定申告書
記入例

今回の認定対象期間中(前回認定日当日から今回認定日前日まで)に仕事をした場合は「アした」をマルで囲み、仕事をした日に4時間以上は○、4時間未満は×のしるしをつける。仕事していなければ「イしない」をマルで囲む。

就労した会社名と一日の労働時間を記入

1 失業の認定を受けようとする期間中に、就職、就労、又は内職・手伝いをしましたか。

イ

内職又は手伝いをした日には、印を右のカレンダーに記入してください

6月	7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31				

2 内職又は手伝いをして収入を得た人は、収入のあった日、その額(何日分か)などを記入してください。

収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分
収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分
収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分

3 失業の認定を受けようとする期間中に、求職活動をしましたか。

(1) 求職活動をどのような方法で行いましたか

求職活動の方法	活動日	利用した機関の名称	求職活動の内容
ア 公共職業安定所又は地方運輸局による職業相談、職業紹介等	7/10	ハローワーク大森	職業相談
イ 民間職業紹介機関による職業相談、職業紹介等	7/18	ハローワーク大森	セミナー受講
ウ 労働者派遣期間による派遣業務に従事			

ア 求職活動をした

自身で企業に応募などした場合はここに記入。先方からの連絡なしやこれから面接などの場合は応募の結果を「結果待ち」にする。

事業所名	応募日	応募方法	職種	応募したきっかけ	応募の結果
(株)ワークハロー	7月7日	面接	営業	知人の紹介 新聞広告 就職情報誌 インターネット	結果待ち

新型コロナウイルス感染拡大の影響で満足な求職活動実績ができなかった場合、(例:面接が中止になってしまった、など)具体的な状況をここに記入してください。今回の特例により求職活動実績が足りなくても失業の認定を行います。

イ 求職活動をしなかった

(その理由を具体的に記載してください)

新型コロナウイルス感染防止のため求職活動が行えなかった

4 今、公共職業安定所又は地方運輸局から自分に適した仕事を紹介されればすぐに応じられますか。

ア 応じられる
イ 応じられない

口に○印をした人は、すぐに応じられない理由を第2面の注意の8の中からハローワークからご自分に適した仕事の紹介があった場合に紹介に応じられるかどうかでご記入ください。希望条件に合うお仕事が可能なお仕事の場合は「応じられる」で結構です。

5 就職もしくは自営した人又はその予定のある人が記入してください。

ア 就職
イ 自営

(1) 就職	月	日	より就職(予定)	所在地(〒)
(2) 自営	月	日	より自営業開始(予定)	電話番号()

雇用保険法施行規則第22条第1項の規定により上記のとおり申告します。

令和 3年 7月 ×日

(この申告書を提出する日) 公共職業安定所長 殿 受給資格者氏名 東京 太郎 印 支給番号 21-1234-2

1. 支給額	2. 未支給区分	3. 空欄 未支給以外
4. 支給期間	5. 内職又は手伝いによる収入	6. 基本手当支給日数
7. 就業手当支給日数	8. 就業手当に相当する特別給付支給日数	9. 就職年月日-経路

左下の日付を必ず記入

受給資格者証の左上の支給番号を記入

次回認定日・時間	認定対象期間	月 日 ~ 月 日	※連絡事項
7月 ×日 時から 時まで	備考	特例措置期間が(1)に該当する方: 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため安定所に出頭することが困難 特例措置期間が(2)に該当する方: 高齢であることから/基礎疾患を有することから/妊娠中であることから、新型コロナウイルス感染防止のため安定所に来所困難 昼間連絡先 090-0000-xxxx	
	取扱者印		操作者印

※郵送で申告書を提出する理由と、昼間連絡可能な電話番号を必ずご記入ください